

課題・テーマ

小中学校におけるパフォーマンステストの実施状況を把握し、高校におけるパフォーマンステストを生徒の経験や英語運用能力に合わせたものに改善する。

具体的な取組と工夫

■連携校（古川第二、第五小学校と古川南、東中学校）の授業参観・意見交換を通して、現状を把握し、授業や評価に反映

- ・小中学校の英語担当者とパフォーマンステストの内容、頻度、難易度について情報交換を行った。
- ・小中学校での授業に、高校生が参加し、小中学生の英語能力を向上させると同時に、高校生として目指すべき英語レベルを検討した。

■パフォーマンステストを念頭においた授業設計（Backward Design）

- ・パフォーマンステストで見取りたい英語運用能力を分解し、いくつかの授業の中でその能力を習得させることを狙った言語活動を行った。
- ・パフォーマンステストでは、それまでに積み上げた言語活動を網羅しながら英語が使えるかどうかを評価した。
- ・言語活動は、話す・聞くことを優先し、十分に話すことに習熟してから、話していたことを書くという順序で行った。

■定期考査は初見文のみで出題

■研修会を開催し、小学校・中学校・高等学校の先生方と情報交換を実施

- ・12月15日（月）に文教大学 国際学部 阿野教授（New Horizon著者）をお招きし、公開授業の指導助言をいただいた。「小中高でつなぐ英語指導—言語活動を通して英語力を伸ばしましょう—」という演題でご講演いただき、小中高の教員を交えたワークショップを行った。

■古川第二、第五小学校の6年生と古川高校1・2年生が合同英語授業を実施

・古川第二小学校の児童100名が古川高校に來校し英語の授業を行った。古高生希望者82名がチューターとして参加し、動詞の過去形を使う場面を提示し、小学生が過去形を使って表現する支援を行った。また、古高生希望者58名が古川第五小学校を訪問し、小学生が環境問題に直面している動物について英語で表現する支援を行った。

- ・高校生が英語を使用している場面を小中学生に提示することによって、将来の英語話者のモデルを示し、英語学習への動機づけを強めた。

成果

■Speaking 力の向上を実感（アンケートより）

→パフォーマンステストに向けた言語活動の実施により、話す技能が向上したと感じる生徒が6割を超えた。

■表現の幅の広がりを実感（アンケートより）

→児童との交流授業をはじめとする他者との交流において、表現を試行錯誤しながら自身の考えを伝えようとする姿勢の大切さを実感。

■考査での初見問題使用により応用力・思考力を強化、学習への動機づけ

→どんな英文でも対応できる力を身につけようと学習スタイルを模索した。

■小中高の取り組みを学校間で綿密に共有

→授業参観で小・中の言語活動を学び、高校での指導に反映。

課題及び改善案

■パフォーマンステストの時間・客観性の確保

定期考査前後の授業時間を使って実施。評価基準を明確に細分化し共有することによって担当教員で差が出ないように工夫した。

■オンラインを活用した小中高連携事業の活性化

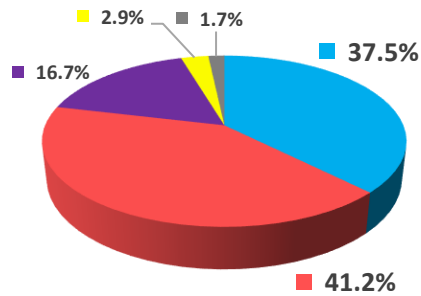
お互いスケジュールが忙しい中、何とか交流できないかとオンラインでの動画の交換を試みた。もっと使いやすいソフトウェアの使用が望ましい。

■資格試験の奨励と指導

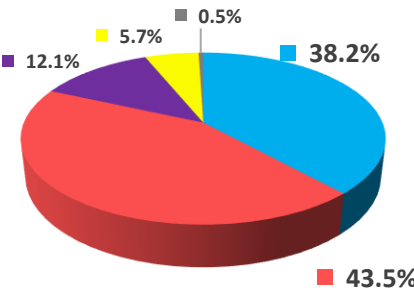
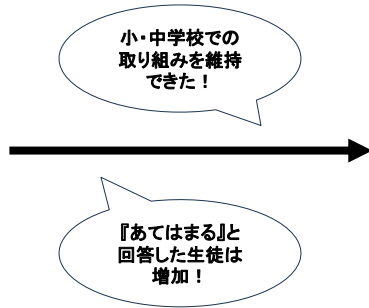
英検の受験を奨励。機会を捉えて意識づけ。英語学習への動機づけを高めた。

生徒アンケート【発信型の取り組みを通して】

既習の表現を使って、相手に自分の考えを伝えようと、試行錯誤をした。



2025. 4月

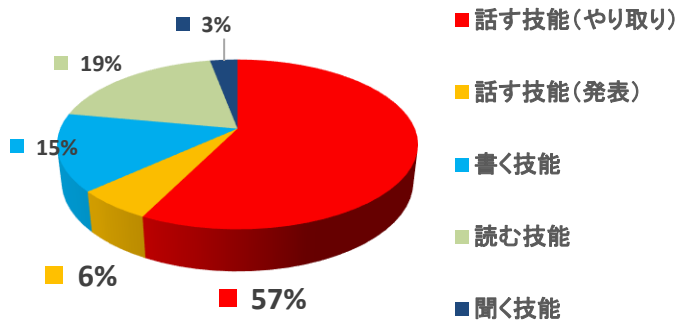


2026. 1月

- とてもあてはまる
- ややあてはまる
- どちらともいえない
- あまりあてはまらない
- あてはまらない

【入学時との比較】

1年間の授業を通して身に付いた技能



生徒のコメントから

- Speakingは苦手であったが、完璧な表現ではなくても、相手との日常会話などのカジュアルな場面でより自然に話すことができるようになった。
- 中学校在籍時よりも授業中に英語を話す量が格段に多くなったため、新しく触れた表現を実際に使う機会が増えたと同時に、自分以外の人の意見の伝え方や表現方法を学ぶことができた。
- 授業内でペアでの意見交換やロールプレイをする機会が多く、英語を使って自分の意見を伝える力が身に付いた。
- 相手へ質問をする場面でのレポーターが増え、内容のレベルも上がった。
- パフォーマンステストの度に、練習をして自分の意見を表現するレポーターを増やすことができたので、自分の意見を話すことへの抵抗が少なくなった。
- 自分の言いたいことを、試行錯誤して伝える力が確実に身に付いた。
- 1年間を通じてペアワークでの意見交換が多かったため、自分の意見を表明する力だけでなく、相手の意見をじっくり聞く力も身に付けることができた。
- ペアワークでの試行錯誤のおかげで、Writingのテスト時にも自分の表現したいことが書けるようになった。
- パフォーマンステストという目標があることで、英語学習に対する明確なゴールを知ることができた。ゴールに向かって意欲を持つこともできた。
- 表現方法が増え、iPadですぐに翻訳機能を使うことがなくなった。

公開授業及び研修会

令和7年12月15日(月)公開授業 英語コミュニケーション I
Lesson9 Our Lost Friend 教諭 森 慎吾

研修会 テーマ「小中高でつなぐ英語指導

一言語活動を通して英語力を伸ばしましょう」

文教大学国際学部国際理解学科

阿野 幸一 教授

参加された先生からのコメント

<小学校の先生方>

生徒が楽しくペアでやり取りしている姿が印象的でした。まずは楽しく話すことが学習する上でのモチベーションにもつながると思います。小学校段階でも、楽しさを知ってほしいと思って授業はするのですが、上位層と下位層でモチベーションにも差があるのが現状です。様々な学校種の先生方と情報交換することができたのが良かったです。

<中学校の先生方>

普段の授業ではゴールを高校入試と考えがちですが、小～高、そしてその後も学びが続くことを考えた時に、中学校が果たすべき役割は何なのか、視野を広げると高校卒業までに身に付けなければならない事柄もあること等、新しい視点を得ることができました。小学校の学びの上に積み上げ、その後の学びの基礎になるような授業を作っていきたいと思えます。昨年度、担当していた生徒が数人おり、中学校の時はレベルの差からか、たくさん話している様子が見られなかった。しかし、本日の授業の中で楽しそうに英語を話している姿が印象的であった。

<高等学校の先生方>・公開授業では、生徒が本当に楽しそうに英語で話していて、積極的に活動する姿に感動しました。生徒の熱に充てられて、先生も心から楽しんで研究授業を行っていて、英語の教員がいかに素敵な職業かも改めて実感しました。研修会においても、言語活動を軸に生徒の英語を定着させていくことの重要性を改めて実感いたしました。新出単語の導入の仕方や既成問題のアレンジ(活用方法)なども、今後より考えていかななくてはならないと感じました。明日からの授業にいかしていきたいと感じることばかりの、大変有意義な時間でした。

古川第二小学校と小高連携授業

令和7年7月2日(水)Unit3 My Weekend

合同授業

○6年生100名が古川高校に来校。6年生4人 古高1・2年生3～4人で1グループを作り、高校生が週末にしたことを、過去形を用いて表現し、小学生に動詞の形が変わっていることを認識させた。続いて、高校生がサポートしながら、小学生が週末にしたことについて英語で表現した。

学活

○6年生が4クラスに分かれ、高校生25～28ずつ入り、中学校、高校の生活や夢をも日本語で語り合ったり、質問し合ったりした。

参加した古高生からのコメント

○新しい表現を教えることの難しさに気づくことができました。小学生は過去形を初めて使うということで、日本語で説明してから英語と一緒に使ってみました。初めは高校生に質問しながらの発表でしたが、最後の方はほとんど手助けなしで言うことができていました。学んでから使うまでの吸収力に驚きました。

○小学生に過去を表すときに動詞が変わるというのを気づかせるのが大変だった。改めて先生の凄さ、大変さを痛感しました。

○英語をどれだけ相手が伝わるように話すのかを考え、実際に話すのが難しかったです。普段の英語の授業とはまた違って面白かったです。

○小学生と一緒に英文を作る時に小学校で習う英単語しか使えないので、文をより簡単に作る練習になってとても良かった。英作文を書く時に難しい表現を使いがちなので、今回の授業でより簡単に分かりやすく伝える英文の作り方を自分自身学ぶことができた。

古川第二小学校6年生から届いたお礼のメッセージ

○この前は、英語でのスピーチの仕方を教えてくださり、ありがとうございました。みんなが積極的に話しかけてくださったおかげでしゃべりやすかったです。

○この前は、英語を教えてくれてありがとうございました。英語の他にもたくさん話してくれて嬉しかったです。さすが高校生だなと思いました。私も古川高校のみなさんのようになりたいです!

○古川高校に行く前は、英語が苦手な発表とかしたくないなと思っていたけど、古川高校の皆さんが分からない英語を教えてくれる人がいて安心しました。古川高校のみなさんのおかげで少し英語ができるようになりました。本当にありがとうございました。